AsahiKASEI

２０１２年度
決算説明資料

2013年5月9日

旭化成株式会社

目次

AsahiKASEI

1．2012年度実績

主要決算数値 P4～5

連結損益計算書 P6

金融収支・有利子負債残高 P7

特別損益 P8

セグメント別売上高・営業利益 P9～12

連結貸借対照表 P13

連結キャッシュ・フロー計算書、設備投資額、減価償却費、研究開発費 P14

2．2013年度業績予想

当期の業績予想 P16

セグメント別売上高・営業利益 P17～19

3．参考資料

セグメント別業績推移 P21～22

セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費 P23

設備投資件名 P24

連結包括利益計算書 P25

セグメント別概況 P26～38

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

1．　2012年度実績

主要決算数値(1)

AsahiKASEI

（億円）

	11年度	12年度		対前年度（b−a）		対最新予想（b−c）	
	a	実績 b	最新予想*1 c	増減額	増減率	増減額	増減率
売 上 高	15,732	16,666	16,690	934	5.9%	−24	−0.1%
営業利益	1,043	920	900	−123	−11.8%	20	2.2%
経常利益	1,076	951	880	−124	−11.6%	71	8.1%
当期純利益	558	537	500	−21	−3.7%	37	7.4%

*1 2013年2月5日発表の業績予想

＜前提＞

ナフサ価格 （国産ナフサ:¥/kl）	54,925	57,500	56,850
為替レート （相場平均:¥/US$）	79	83	82

	12/3月末	13/3月末	増減
総資産	14,106	18,002	3,896
自己資本	7,068	8,121	1,052
有利子負債残高	1,841	3,814	1,973
D／Eレシオ	0.26	0.47	0.21

主要決算数値(2)

AsahiKASEI

	11年度	12年度
1株当たり当期純利益(EPS)	39.89 円	38.43 円
1株当たり年間配当金	14 円	14 円
配当性向	35.1 %	36.4 %
総資産利益率(ROA)	3.9 %	3.3 %
自己資本利益率(ROE)	8.1 %	7.1 %
1株当たり純資産(BPS)	505.72 円	581.05 円

＜連結対象範囲＞

連結子会社数	105	126
持分法適用会社数	46	43

期末人員	25,409 人	28,363 人

連結損益計算書

AsahiKASEI

（上段：百分率、％　下段：金額、億円）

	11年度	12年度	増減額	増減率
売上高	100.0% 15,732	100.0% 16,666	934	5.9%
売上原価	74.9% 11,790	74.4% 12,395	605	5.1%
売上総利益	25.1% 3,943	25.6% 4,272	329	8.4%
販管費	18.4% 2,900	20.1% 3,352	452	15.6%
営業利益	6.6% 1,043	5.5% 920	−123	−11.8%
営業外損益	33	32	−1	
（内、金融収支）	(14)	(8)	(−6)	
（内、持分法投資損益）	(7)	(−2)	(−8)	
（内、為替差損益）	(−2)	(43)	(44)	
経常利益	6.8% 1,076	5.7% 951	−124	−11.6%
特別損益	−127	−128	−1	
税前利益	6.0% 949	4.9% 823	−126	−13.2%
法人税等	−380	−284	96	
少数株主損益	−11	−2	9	
当期純利益	3.5% 558	3.2% 537	−21	−3.7%

金融収支・有利子負債残高

AsahiKASEI

（1）金融収支

（億円）

	11年度	12年度	増減
支払利息	−27	−33	−7
受取利息	14	13	−1
受取配当金	27	29	2
その他	−1	−1	−0
合　計	14	8	−6

（2）有利子負債残高

（億円）

	12/3月末	13/3月末	増減
短期借入金	745	1,130	386
コマーシャル・ペーパー	150	700	550
長期借入金	627	1,469	842
社債	250	450	200
リース債務	69	65	−4
合　計	1,841	3,814	1,973

特別損益

AsahiKASEI

（億円）

	11年度	12年度	増減
投資有価証券売却益	2	1	−1
固定資産売却益	5	2	−2
段階取得に係る差益	23	−	−23
特別利益	30	3	−26
投資有価証券評価損	19	5	−14
固定資産処分損	35	40	5
減損損失	5	21	16
環境対策費	3	2	−1
災害による損失	10	−	−10
事業構造改善費用	85	64	−21
特別損失	157	132	−25
特別損益	−127	−128	−1

セグメント別売上高・営業利益（1）

AsahiKASEI

（億円）

	売上高			営業利益			12年度最新予想[*1]	
	11年度	12年度	増減	11年度	12年度	増減	売上高	営業利益
ケミカル	6,801	6,846	45	445	229	−216	6,890	225
住宅	4,520	4,862	342	463	543	79	4,860	540
医薬・医療	1,195	1,335	140	88	159	71	1,330	160
繊維	1,108	1,096	−12	31	40	9	1,090	40
エレクトロニクス	1,461	1,311	−150	64	28	−36	1,310	15
建材	461	515	54	18	40	21	520	40
クリティカルケア[*2]	−	521	521	−	−37	−37	510	−35
その他	186	180	−5	30	22	−8	180	20
消去又は全社	−	−	−	−97	−105	−8	−	−105
合　計	15,732	16,666	934	1,043	920	−123	16,690	900

*1　2013年2月5日発表の業績予想
*2　2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別売上高・営業利益(2)(海外売上高)

AsahiKASEI

(億円)

	11年度			12年度			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
ケミカル	6,801	2,811	41.3%	6,846	2,902	42.4%	91	3.2%
住宅	4,520	−	−	4,862	−	−	−	−
医薬・医療	1,195	285	23.9%	1,335	286	21.4%	1	0.4%
繊維	1,108	354	31.9%	1,096	386	35.2%	32	9.0%
エレクトロニクス	1,461	742	50.8%	1,311	749	57.1%	7	1.0%
建材	461	−	−	515	−	−	−	−
クリティカルケア*1	−	−	−	521	519	99.5%	519	−
その他	186	24	12.7%	180	10	5.5%	−14	−57.7%
合　計	15,732	4,215	26.8%	16,666	4,852	29.1%	637	15.1%
東アジア地域*2への売上高		2,692	17.1%		2,841	17.0%	149	5.5%
(内、中国への売上高)		1,513	9.6%		1,556	9.3%	43	2.8%
＜参考＞								
住宅・建材を除いた売上高	10,751	4,215	39.2%	11,290	4,852	43.0%		

*1　2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。
*2　中国、韓国、台湾

セグメント別売上高・営業利益増減要因（1）

AsahiKASEI

（億円）

		11年度	12年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	6,801	6,846	45	85	−59	57	19	−
	営業利益	445	229	−216	−53			−	−104
住宅	売上高	4,520	4,862	342	302	27	−	13	−
	営業利益	463	543	79	91			−	−39
医薬・医療	売上高	1,195	1,335	140	168	−29	1	−	−
	営業利益	88	159	71	162			−	−62
繊維	売上高	1,108	1,096	−12	−19	6	8	−	−
	営業利益	31	40	9	−9			−	11
エレクトロニクス	売上高	1,461	1,311	−150	−90	−59	14	−	−
	営業利益	64	28	−36	−40			−	63

セグメント別売上高・営業利益増減要因（2）

AsahiKASEI

（億円）

		11年度	12年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
建材	売上高	461	515	54	51	3	−	−	−
	営業利益	18	40	21	7			−	12
クリティカルケア*1	売上高	−	521	521	−	−	−	521	−
	営業損失	−	−37	−37	−			−	−37
その他	売上高	186	180	−5	−8	−	−	2	−
	営業利益	30	22	−8	−8			−	−0
消去又は全社	営業損失	−97	−105	−8	−	−	−	−	−8
合　計	売上高	15,732	16,666	934	489	−111	79	556	−
	営業利益	1,043	920	−123	150			−	−163

*1 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

連結貸借対照表*1

AsahiKASEI

（億円）

	12/3月末	13/3月末	増減		12/3月末	13/3月末	増減
流動資産	7,218	8,195	977	負債	6,913	9,757	2,844
現金及び預金	1,029	1,095	66	流動負債	4,496	6,029	1,533
受取手形及び売掛金	2,661	3,062	402	固定負債	2,417	3,729	1,312
棚卸資産	2,792	3,097	305	純資産	7,193	8,245	1,052
その他	736	941	204	株主資本	6,968	7,339	371
固定資産	6,888	9,807	2,919	資本金	1,034	1,034	－
有形固定資産	4,161	4,616	455	資本剰余金	794	794	−0
無形固定資産	452	2,554	2,102	利益剰余金	5,164	5,536	372
投資その他の資産	2,275	2,637	362	自己株式	−24	−24	−0
				その他の包括利益累計額	100	782	681
				少数株主持分	124	124	−1
資　産　合　計	14,106	18,002	3,896	負債純資産合計	14,106	18,002	3,896

*1　2013年3月末時点のZOLL Medical社等の新規連結及び買収に係る所要資金調達に伴う連結貸借対照表への影響額：総資産 2,403億円
主な内訳：無形固定資産 1,981億円（内、のれん 1,258億円）、負債（有利子負債） 1,878億円　他

連結キャッシュ・フロー計算書、設備投資額、減価償却費、研究開発費

AsahiKASEI

（1）連結キャッシュ・フロー計算書

（億円）

	11年度	12年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,413	1,260
投資活動によるキャッシュ・フロー②	−895	−2,785
フリー・キャッシュ・フロー③（①＋②）	518	−1,525
財務活動によるキャッシュ・フロー④	−910	1,662
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	−8	−9
現金及び現金同等物の増減額⑥（③＋④＋⑤）	−401	129
現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,344	964
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	15	1
関係会社の報告期間変更に伴う増減額⑨	5	−53
現金及び現金同等物の期末残高（⑥＋⑦＋⑧＋⑨）	964	1,040

（2）設備投資額、減価償却費、研究開発費

（億円）

	11年度	12年度
設備投資額（有形）	754	923
設備投資額（無形）	97	215
設備投資額計	851	1,138
減価償却費（有形と無形の合計）	784	800
減価償却費（のれん償却額）	12	70
減価償却費	796	870
研究開発費	663	711

2.　2013年度業績予想

当期の業績予想

AsahiKASEI

（億円）

	11年度	12年度			13年度（予）			増減
		上	下	計a	上	下	計b	b−a
売上高	15,732	7,875	8,791	16,666	9,120	9,790	18,910	2,244
営業利益	1,043	383	537	920	590	710	1,300	380
経常利益	1,076	359	593	951	575	725	1,300	349
当期純利益	558	206	331	537	325	445	770	233

ナフサ価格（国産ナフサ¥/kl）	54,925	55,200	59,800	57,500	62,000	62,000	62,000	4,500
為替レート（相場平均¥/$）	79	79	87	83	95	95	95	12

	11年度	12年度	13年度
1株当たり年間配当金	14円	14円	14円 （予定）
配当性向	35.1%	36.4%	25.4%

セグメント別売上高

AsahiKASEI

（億円）

	12年度			13年度（予）			増減
	上	下	計a	上	下	計b	b−a
ケミカル	3,323	3,523	6,846	3,980	4,020	8,000	1,154
住宅	2,130	2,731	4,862	2,390	2,870	5,260	398
医薬・医療	648	686	1,335	730	720	1,450	115
繊維	539	557	1,096	580	620	1,200	104
エレクトロニクス	669	642	1,311	700	750	1,450	139
建材	248	267	515	280	310	590	75
クリティカルケア*1	229	293	521	370	400	770	249
その他	89	91	180	90	100	190	10
合　計	7,875	8,791	16,666	9,120	9,790	18,910	2,244

*1　2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別営業利益

AsahiKASEI

（億円）

	12年度			13年度（予）			増減 b−a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	146	84	229	210	220	430	201
住宅	188	354	543	265	335	600	57
医薬・医療	75	85	159	105	100	205	46
繊維	17	23	40	30	40	70	30
エレクトロニクス	0	28	28	40	60	100	72
建材	16	24	40	25	30	55	15
クリティカルケア*1	−11	−26	−37	−20	−20	−40	−3
その他	12	10	22	5	10	15	−7
消去又は全社	−60	−45	−105	−70	−65	−135	−30
合　計	383	537	920	590	710	1,300	380

*1　2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

当期業績の見通し

AsahiKASEI

セグメント	業績（億円）	12年度	13年度予	見通し
ケミカル	売上高	6,846	8,000	モノマー系事業のアクリロニトリルやポリマー系事業の合成ゴム、エンジニアリング樹脂などで販売量の増加を見込むことや円安による交易条件の改善により、増収・増益となる見通し。
	営業利益	229	430	
住宅	売上高	4,862	5,260	請負事業において好調な受注を背景に引渡戸数が増加することなどにより、増収・増益となる見通し。
	営業利益	543	600	
医薬・医療	売上高	1,335	1,450	**医薬事業**は、研究開発費等が増加するものの、骨粗鬆症治療剤「テリボン™」、血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」などの販売量の増加を見込む。**医療事業**は、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」を中心とした販売量の増加や対ユーロの円安効果を見込み、セグメント全体で増収・増益となる見通し。
	営業利益	159	205	
繊維	売上高	1,096	1,200	スパンボンド不織布やポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」などの販売量の増加や再生セルロース繊維「ベンベルグ™」を中心に円安効果を見込むことにより、増収・増益となる見通し。
	営業利益	40	70	
エレクトロニクス	売上高	1,311	1,450	**電子部品系事業**はスマートフォン、タブレット端末向けを中心とした各製品の販売量の増加や円安効果を見込む。**電子材料系事業**は高機能製品が販売量を伸ばすことや円安効果を見込むことにより、セグメント全体で増収・増益の見通し。
	営業利益	28	100	
建材	売上高	515	590	軽量気泡コンクリート（ALC）「ヘーベル™」をはじめとして各製品において拡販を見込むことにより、増収・増益となる見通し。
	営業利益	40	55	
クリティカルケア＊1	売上高	521	770	研究開発費や日本での事業開始に伴う初期費用が増加するものの、着用型自動除細動器「LifeVest™」を中心に販売量が増加することにより、事業利益は増益の見通し。連結業績については、買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却費などが円安の影響で増加することにより、増収・減益となる見通し。
	営業利益	−37	−40	

＊1　2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

3. 参 考 資 料

セグメント別売上高*1推移

AsahiKASEI

（億円）

	11年度				12年度				13年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期予想	下期予想
ケミカル	1,779	1,822	1,656	1,545	1,611	1,713	1,690	1,832	3,980	4,020
住宅	792	1,208	1,090	1,430	863	1,267	1,174	1,557	2,390	2,870
医薬・医療	294	306	307	288	324	324	361	326	730	720
繊維	277	284	272	275	263	276	275	283	580	620
エレクトロニクス	398	378	356	329	340	330	332	310	700	750
建材	101	122	128	111	115	132	144	123	280	310
クリティカルケア*2	–	–	–	–	91	138	133	160	370	400
その他	40	45	44	57	44	45	42	50	90	100
合　計	3,680	4,165	3,853	4,035	3,650	4,225	4,151	4,640	9,120	9,790
控除したナフサ転売取引額	82	96	164	56						

*1　2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。

*2　2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別営業損益推移

AsahiKASEI

（億円）

	11年度				12年度				13年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期予想	下期予想
ケミカル	194	147	92	12	43	102	29	55	210	220
住宅	36	142	109	175	36	152	130	225	265	335
医薬・医療	26	30	37	−6	47	28	70	15	105	100
繊維	14	7	5	5	6	11	13	10	30	40
エレクトロニクス	48	22	−5	−2	−4	4	14	14	40	60
建材	2	5	9	1	5	11	17	7	25	30
クリティカルケア*1	−	−	−	−	−5	−6	−12	−13	−20	−20
その他	4	8	9	9	8	3	5	6	5	10
消去又は全社	−22	−27	−25	−23	−29	−30	−22	−23	−70	−65
合　計	302	335	233	172	108	275	242	295	590	710

*1　2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費

AsahiKASEI

（億円）

	設備投資額			減価償却費*1			研究開発費		
	11年度	12年度	13年度予想	11年度	12年度	13年度予想	11年度	12年度	13年度予想
ケミカル	391	473	400	292	300		162	159	
住宅	63	95	70	48	53		21	22	
医薬・医療	107	143	100	109	105		175	200	
繊維	57	68	60	64	61		28	28	
エレクトロニクス	134	170	160	209	150		192	176	
建材	16	22	60	24	23		11	10	
クリティカルケア*2	－	54	60	－	69		－	39	
その他	8	11	20	9	9		2	1	
消去又は全社	76	101	80	29	31		71	75	
合　計	851	1,138	1,010	784	800	910	663	711	720

＜参考＞

のれん償却額	12	70*3	

*1　従来の減価償却費はのれん償却額を含む金額で開示していたが、2012年度第2四半期より有形固定資産、無形固定資産（除く、のれん）の償却額を合算した金額で開示している。

*2　2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

*3　ZOLL Medical社買収に伴うのれん償却額等

設備投資件名

AsahiKASEI

＜12年度完工件名＞

○・家庭用食品包装用ラップ「サランラップ™」新工場建設（10/7～12/5、鈴鹿）

○・木質バイオマス発電設備新設（10/2～12/7、延岡）

○・スパンボンド不織布の製造設備新設（11/8～12/10、2万トン/年、タイ）

○・アクリロニトリルの製造設備能力増強（11/6～13/1、24.5万トン/年、韓国（東西石油化学㈱））

○：投資額30億円以上

＜12年度末時点　工事中件名＞

○・溶液重合法SBRの製造設備新設（11/7～13/4、5万トン/年、シンガポール）

○・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」の製造設備能力増強（13年上期、5,000万m^2/年、日向）

・医薬研究センター新研究棟建設（12/9～13/10、大仁）

○・感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」の製造設備新設（12/5～13年秋、約1.2億m^2/年、中国常熟）

・アセトニトリルの製造設備新設（12/4～14/1、1.1万トン/年、韓国（東西石油化学㈱））

○・高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」の製造設備能力増強（12/4～14/3、現生産能力の約1.8倍、境）

連結包括利益計算書

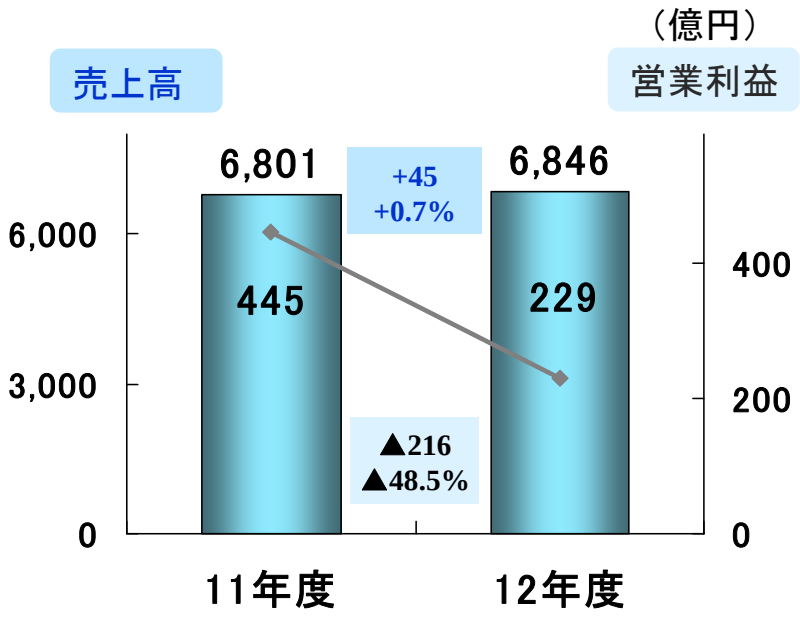
AsahiKASEI

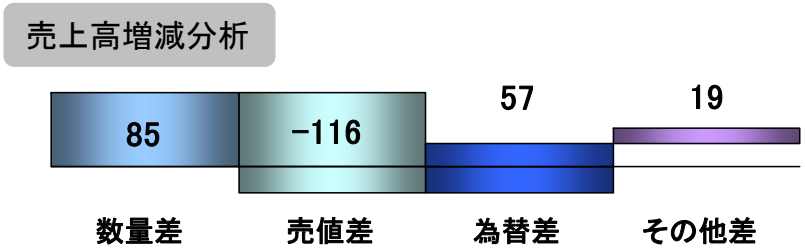
（億円）

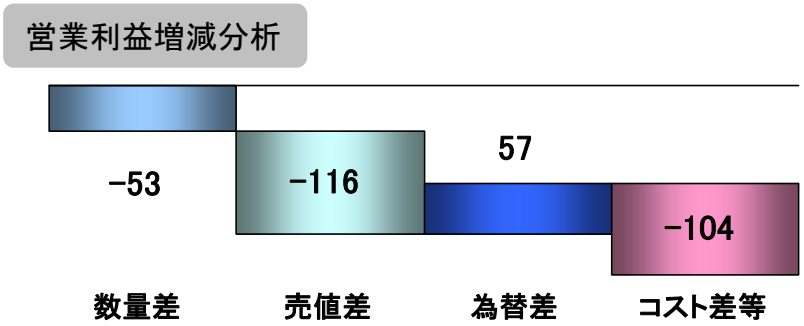
	11年度	12年度	増減
少数株主損益調整前当期純利益①	569	539	−30
その他有価証券評価差額金	106	224	118
繰延ヘッジ損益	−16	8	24
為替換算調整勘定	−10	346	356
持分法適用会社に対する持分相当額	−23	58	81
その他の包括利益合計②	57	636	579
包括利益（①＋②）	626	1,175	550
（内訳）			
親会社株主に係る包括利益	616	1,165	549
少数株主に係る包括利益	10	10	0

ケミカル概況

AsahiKASEI







＜概況＞

・汎用系事業

＜モノマー系事業＞

中国を中心としたアジア需要の低迷が長引く中、アクリロニトリルなどの市況が低水準で推移し、原燃料価格の高騰で交易条件が悪化したことなどから、前期比増収、減益となった。

＜ポリマー系事業＞

省燃費タイヤ向け合成ゴムの販売が堅調に推移したものの、ポリエチレンを中心に原燃料価格の高騰の影響を受けたことなどから、前期比増収、減益となった。

・高付加価値系事業

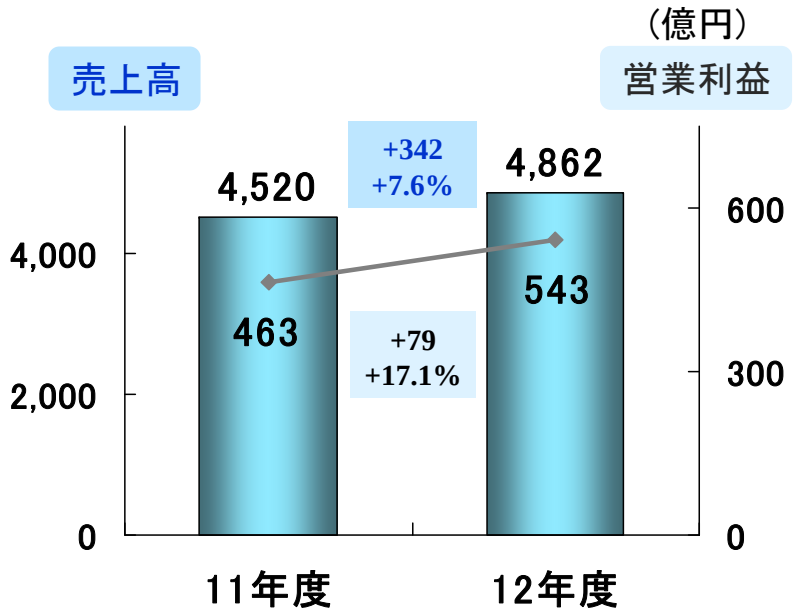
イオン交換膜が中国の新規プロジェクトのスタート遅れの影響などを受けたものの、コーティング事業や添加剤事業などが好調に推移したことから、前期比減収、増益となった。

＜トピックス＞

・「サランラップ™」新工場が竣工。（5月）
・韓国京畿道坡州（パジュ）市における大型下水MBR処理施設に水処理用中空糸ろ過膜「マイクローザ™」が採用、本格運転を開始。（6月）
・研究開発棟「川崎イノベーションセンター」が竣工。（12月）
・タイにおけるアクリロニトリル、メチルメタクリレート（MMA）の新工場が商業運転を開始。（1月）
・自動車向け塗料原料などに使われるヘキサメチレンジイソシアネート（HDI）系ポリイソシアネート「デュラネート™」の中国における生産設備増設を決定。（2013年4月、2015年初商業運転開始予定）
・タイでのメタクリル樹脂（PMMA）の製造技術ライセンスを決定。（2013年4月）

住宅概況

AsahiKASEI



事業別増減分析

(億円)

	11年度	
	売上高	営業利益
建築請負	3,396	
分譲	237	
住宅周辺等	887	
合計	4,520	463

	12年度	
	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	3,673	426
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	706	45
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	463	61
その他住宅周辺事業等	19	11
合計	4,862	543

※ 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。
従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

＜概況＞

・建築請負部門

・戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加し、前期比増収、増益となった。

・建築請負事業の受注高は、都市部のニーズを捉えた商品展開などにより、順調に受注戸数を伸ばし、前期比10.9%の増となった。

・不動産部門、リフォーム部門等

不動産部門における賃貸管理事業や分譲事業が堅調に推移し、リフォーム部門も太陽光発電システムの設置などの受注が順調に拡大したことなどから、前期比増収、増益となった。

＜トピックス＞

・エネルギーを世帯間でシェアする二世帯住宅「ヘーベルハウス™ &NiCO(アンド ニコ)」を発売。(4月)

・災害発生後の火災への備えを強化し、エネルギー自立供給を可能とする新たな設備を装備した「ヘーベルハウス™ そなえのいえ」を発売。(4月)

・V2H(ビークルトゥホーム)システム*1とHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)機器*2を戸建住宅「ヘーベルハウス™」に導入。(7月)

・親世帯と子世帯と単身の兄弟姉妹も共に暮らす、「ヘーベルハウス™ 2.5世帯住宅」を発売。(8月)

・黒色の吹付を採用した、重量鉄骨システムラーメン構造の3階建て「ヘーベルハウス™ フレックスGENB(げんぶ)」を発売。(11月)

・面積と用途に可変性を持つサブ住戸を備えた「ヘーベルハウス™ ロンド・コンパクト」を発売。(2月)

*1 電気自動車(EV)に搭載される大容量蓄電池に貯めた電力を住まいの系統電力に戻して使用できるシステム。
*2 家庭内のエネルギー消費状態を画面で確認できる機器。

住宅(1)

AsahiKASEI

1. 売上高*1、受注高の状況

(単位:億円、(　)内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他	関係会社等	連結計	受注残
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030
	下期	1,825 (5.6%)	1,937 (9.7%)	118 (▲35.7%)	465 (14.2%)		2,520 (6.9%)	3,918
	通期	3,719 (4.9%)	3,396 (12.4%)	237 (▲14.7%)	887 (11.8%)		4,520 (10.4%)	

		請負受注高	建築請負部門売上高	不動産部門売上高				リフォーム部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
12	上期	2,075 (9.5%)	1,614	44	233	11	288	216	12	2,130 (6.5%)	4,415
	下期	2,049 (12.3%)	2,059	162	245	11	419	247	7	2,731 (8.4%)	4,446
	通期	4,124 (10.9%)	3,673	206	478	22	706	463	19	4,862 (7.6%)	
13予	通期	4,260 (3.3%)	3,890	265	535	30	829	525	16	5,260 (8.2%)	4,896

*1 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

住宅(2)

AsahiKASEI

2. 2012年度　用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸建系	低　層	2,158	4.0%	7,090	3.1%	2,367	9.4%	8,057	10.3%
	中　層	814	6.4%	3,216	10.6%	941	7.0%	3,842	10.1%
	小　計	2,972	4.6%	10,306	5.3%	3,308	8.7%	11,899	10.3%
集合系	低　層	222	14.1%	1,792	9.4%	295	20.9%	2,359	21.3%
	中　層	402	11.4%	3,244	5.8%	521	20.6%	3,937	12.6%
	小　計	624	12.4%	5,036	7.1%	816	20.7%	6,296	15.8%
建築請負事業合計		3,596	5.9%	15,342	5.9%	4,124	10.9%	18,195	12.1%
その他*1		77	−58.1%	34	−79.6%	−	−	−	−
建築請負部門合計		3,673	2.6%	15,376	4.9%	4,124	10.9%	18,195	12.1%

*1　一部分譲事業(「街かどへーベルハウス™」分譲、売建分譲)及び損害保険手数料収入等。前期比較は、2011年度下期から旭化成不動産レジデンス㈱に移管した開発事業(分譲マンション等)を含んだ数値との比較。

住宅(3)

AsahiKASEI

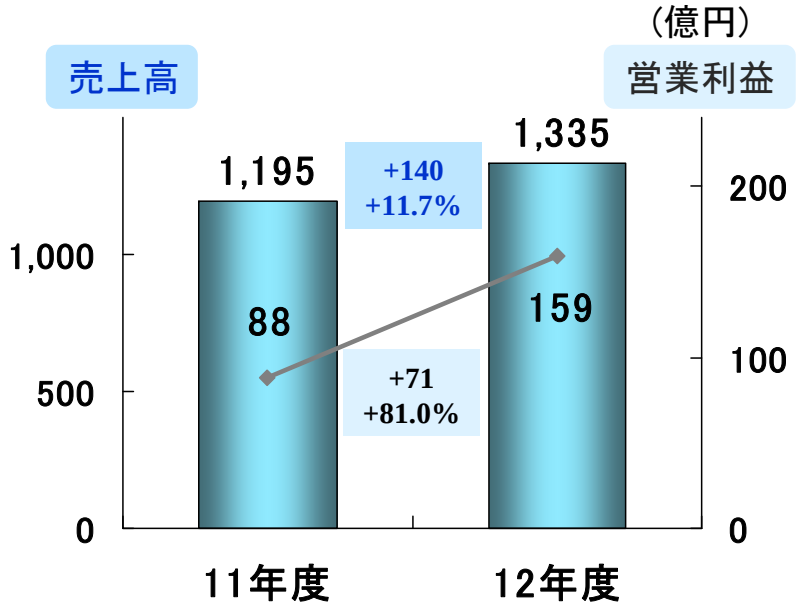
3. 2013年度予想　用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

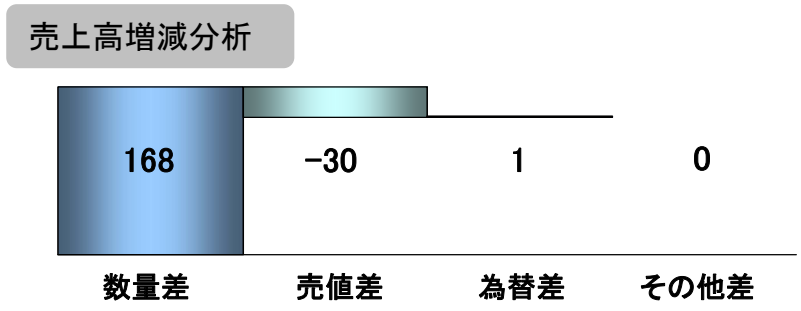
(右欄:前期比)

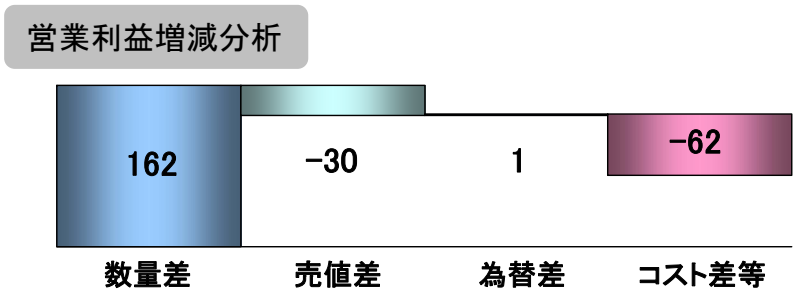
		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸建系	低　層	2,177	0.9%	7,500	5.8%	2,410	1.8%	8,200	1.8%
	中　層	916	12.5%	3,830	19.1%	1,020	8.3%	4,200	9.3%
	小　計	3,093	4.1%	11,330	9.9%	3,430	3.7%	12,400	4.2%
集合系	低　層	271	21.9%	2,170	21.1%	300	1.7%	2,450	3.9%
	中　層	445	10.8%	3,430	5.7%	530	1.8%	4,150	5.4%
	小　計	717	14.8%	5,600	11.2%	830	1.7%	6,600	4.8%
建築請負事業合計		3,810	5.9%	16,930	10.4%	4,260	3.3%	19,000	4.4%
その他*1		80	3.4%	30	−11.8%	−	−	−	−
建築請負部門合計		3,890	5.9%	16,960	10.3%	4,260	3.3%	19,000	4.4%

*1　一部分譲事業(「街かどへーベルハウス™」分譲、売建分譲)及び損害保険手数料収入等。

医薬・医療概況







＜概況＞

・医薬事業

研究開発費が増加し、薬価改定の影響を受けたものの、骨粗鬆症治療剤「テリボン™」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」を中心に販売が順調に拡大したことなどから、前期比増収、増益となった。

・医療事業

アフェレシス（血液浄化療法）関連機器の販売が堅調に推移したが、ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」が競争激化や償還価格改定の影響を受けたことなどから、前期比増収、減益となった。

＜トピックス＞

・透析事業における戦略的提携関係を一層強化するため、ネクステージ　メディカル社に出資。（同社への長期貸付金元利金額を同社株式に転換し取得）（５月）

・血液凝固阻止剤ART－123（日本での販売名：「リコモジュリン™」）について、「凝固異常を伴う重症敗血症」を対象とする海外での第3相臨床試験を開始。（１０月）

・久光製薬㈱が過活動膀胱治療薬として開発中のHOB-294（オキシブチニン塩酸塩　経皮吸収型製剤）について、日本国内における共同販売契約を締結（１２月）。製造販売承認（販売名：ネオキシ™テープ）（３月）。

・抗ヘルペスウイルス剤「ファムビル™」（一般名：ファムシクロビル）について、「単純疱疹」に対する効能・効果追加の承認取得。（２月）

・旭化成アイミー㈱のコンタクトレンズ製造受託事業からの撤退を決定。（３月）

医薬・医療（1）

AsahiKASEI

1．売上高内訳

（億円）

		11年度			12年度		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬事業	国内医薬	277	293	571	342	366	708
	その他	32	20	52	23	26	49
	計	309	313	623	365	392	757
医療事業		290	282	572	283	295	578
医薬・医療　計		600	595	1,195	648	686	1,335

〈主要医薬品の国内売上高〉

（億円）

	11年度			12年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
テリボン™	－	22	22	73	97	170
フリバス™	69	73	142	70	72	142
エルシトニン™	67	57	124	53	47	100
リコモジュリン™	34	39	73	43	52	94
ブレディニン™	32	32	64	31	29	60

医薬・医療（2）

AsahiKASEI

2. 主要医薬品の説明

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン™	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤（副甲状腺ホルモン：PTH）	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
フリバス™	ナフトピジル	α1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤
エルシトニン™注20S エルシトニン™注20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
リコモジュリン™	トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）	血液凝固阻止剤	DIC（汎発性血管内血液凝固症）	注射剤
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤

医薬・医療（3）

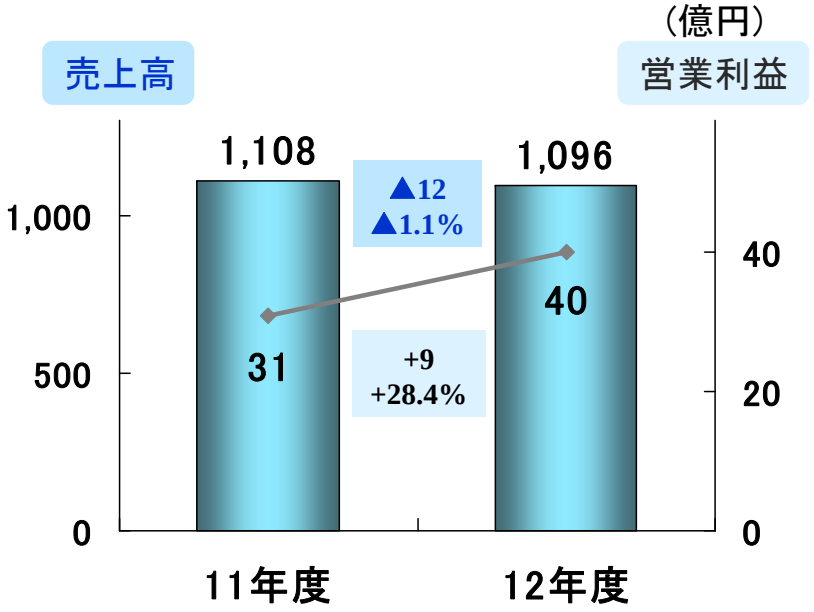
AsahiKASEI

3．研究開発の状況

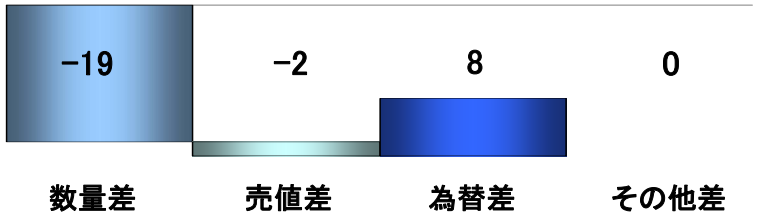
		開発コード・剤型 （一般名）	区　分	薬　効・分　類	適　応　症	自社/導入	備考
国内	承認	AK－120錠 （ファムシクロビル）	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹	導入	
国内	フェーズⅢの品目	AK－156注 （ゾレドロン酸水和物）	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 （ビスフォスフォネート）	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
国内	フェーズⅢの品目	AK－160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
国内	フェーズⅡの品目	AT－877錠 （ファスジル塩酸塩水和物）	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
国内	フェーズⅡの品目	HC－58注 （エルカトニン）	適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社	
海外	フェーズⅢの品目	ART－123注 （トロンボモデュリン　アルファ （遺伝子組換え））	新成分新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
海外	フェーズⅡの品目	AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究　成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ（アンメットメディカルニーズ）」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

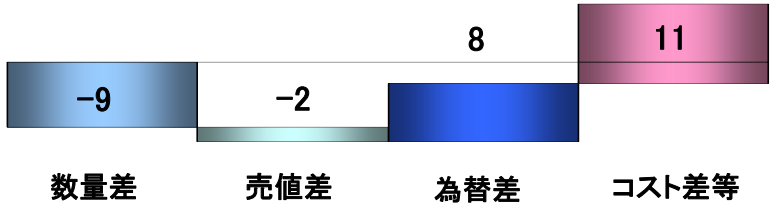
繊維概況



売上高増減分析



営業利益増減分析



＜概況＞

ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」が海外を中心に苦戦したが、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」でアウター用途や民族衣装用途などの販売が好調に推移したことや、不織布事業も堅調だったことなどから、前期比減収、増益となった。

＜トピックス＞

・米国子会社におけるスパンデックス（ポリウレタン弾性繊維）の製造・販売の停止など、スパンデックス事業の構造改革を決定。（８月）

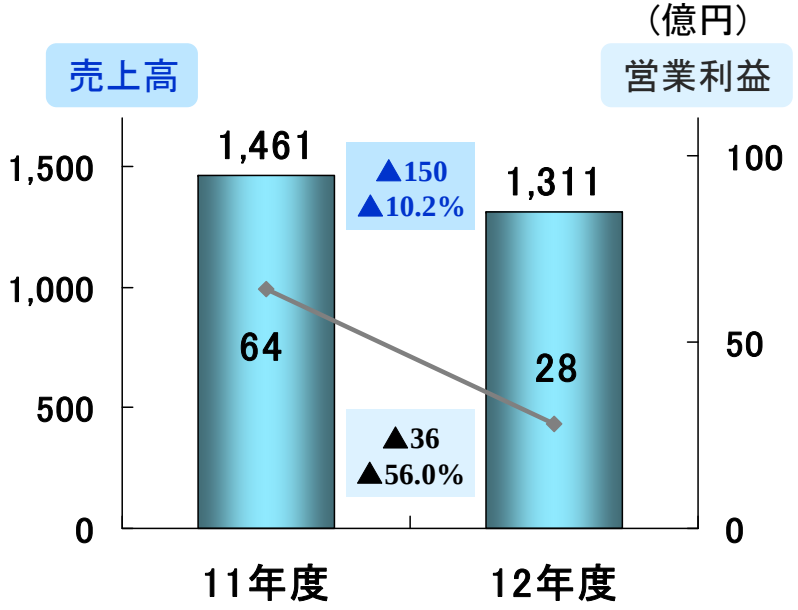
・タイにおける紙オムツ用途向けスパンボンド不織布の新工場が商業運転を開始。（１１月）

・再生セルロース繊維「ベンベルグ™」の生産設備増設を発表。（３月、１４年４月稼働開始予定）

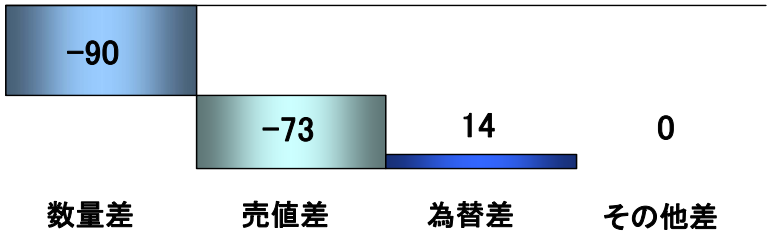
・旭化成・中国ファッションデザイナークリエイティブ大賞の授与式及びファッションショー開催。（３月）

エレクトロニクス概況

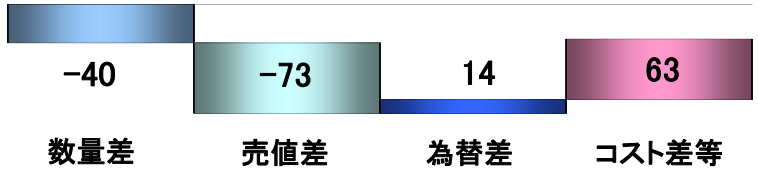
AsahiKASEI



売上高増減分析



営業利益増減分析



＜概況＞

・電子部品系事業

スマートフォンなど携帯端末向けミクスドシグナルLSIの販売が堅調に推移したものの、エレクトロニクス業界の市場低迷の影響を大きく受けたことなどから、前期比減収、減益となった。

・電子材料系事業

各製品における高機能領域の販売が拡大しつつあるものの、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」をはじめ全般的に販売量の伸び悩みや販売価格の下落の影響を受けたことなどから、前期比減収、減益となった。

＜トピックス＞

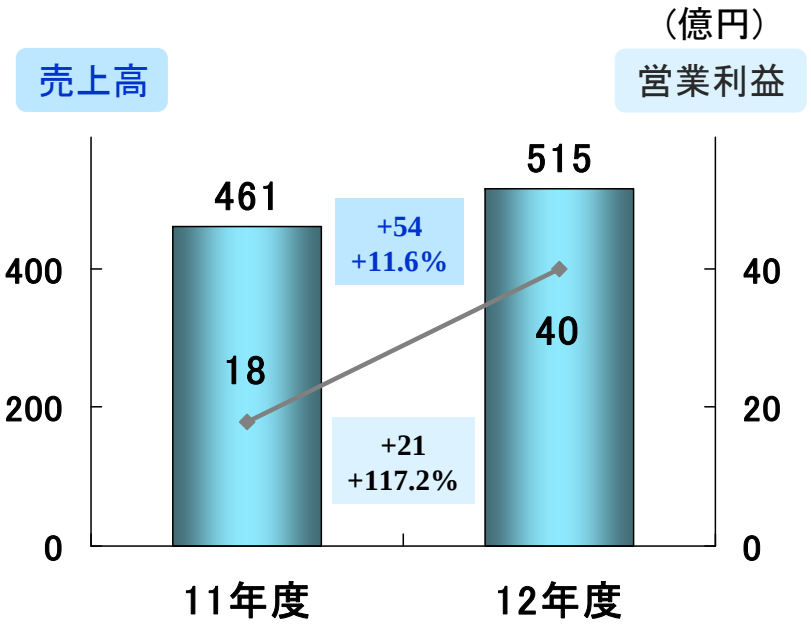
・中国江蘇省常熟市での「サンフォート™」の工場建設を発表。（5月、13年秋稼働開始予定）

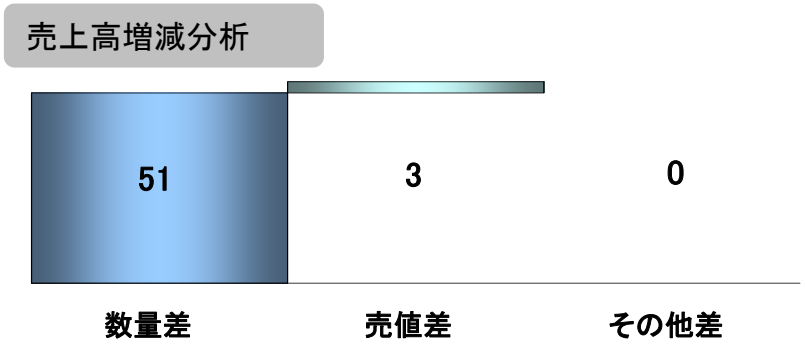
・「電子コンパスの自動調整技術」に関わる特許が、全国発明表彰「恩賜発明賞」を受賞。（6月）

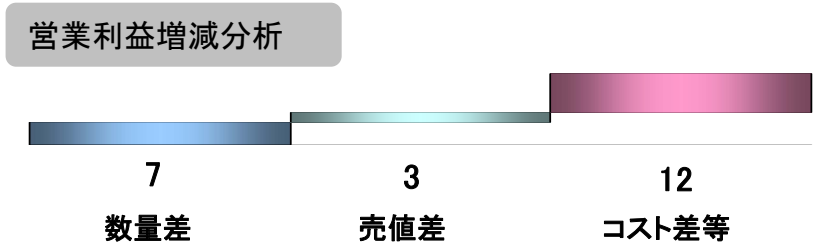
・世界最小クラスのパッケージサイズを実現した携帯機器向け3軸電子コンパス新製品発売。（7月）

・中国江蘇省蘇州市において「ハイポア™」の加工工場を建設、稼働開始。（9月）

建材概況







＜概況＞

住建事業で軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル™」の販売が堅調に推移し、断熱材事業では高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」などが販売量を伸ばした。また、基礎事業では中小型パイル工法「イーゼット™」や「ATTコラム™」の受注が非建築分野や新規用途において拡大し、構造資材事業の販売が好調であったことなどから、前期比増収、増益となった。

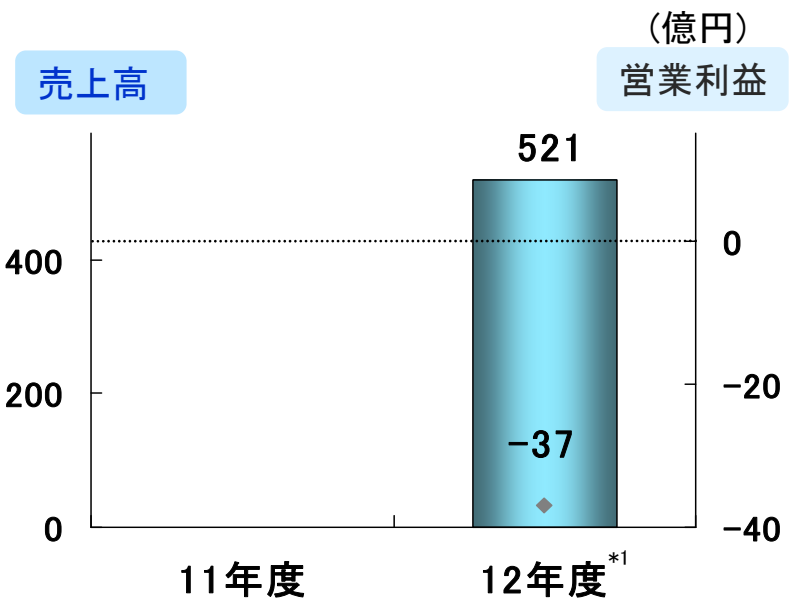
＜トピックス＞

・床充填専用フェノールフォーム断熱材「ジュピー™25」を発売。(8月)

・ポリエチレン系断熱材「サニーライト™」の生産・販売を終了。(3月)

クリティカルケア概況

AsahiKASEI



*1　2012年5月から2013年3月までの業績

＜概況＞

着用型自動除細動器「LifeVest（ライフベスト）™」の業績が順調に拡大し、医療機関向け除細動器なども堅調だったが、買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響を受け、営業損失となった。

＜トピックス＞

- ZOLL Medical社の日本法人「旭化成ゾールメディカル㈱」を設立。（10月）
- 急性重症脳障害による発熱を抑制するために用いる、中心静脈留置型経皮的体温調節装置システム「サーモガードシステム™」の国内販売を開始。（2月）

＜参考：クリティカルケアセグメント業績推移＞

	12年度			13年度		
	上期	下期	（11ヵ月）	上期	下期	予想
売上高（連結）	229	293	521	370	400	770
事業利益*2	41	32	73	43	39	82
のれん償却額	−23	−30	−53	−33	−33	−66
無形固定資産償却額等	−29	−27	−57	−30	−26	−56
償却額合計*2	−52	−58	−110	−63	−59	−122
営業利益（連結）	−11	−26	−37	−20	−20	−40

*2　2012年度第3四半期まで、当社による買収前に発生していたZOLL Medical社の無形固定資産償却費用を「償却額合計」に含めて表示していたが、今回より同費用は「事業利益」より差し引くこととし、「償却額合計」からは除いている。これに伴い、過去に遡って2012年度分の表示を変更している。（尚、該当は「無形固定資産償却額等」のみで、「のれん償却額」には影響はない。）